



# に い が た 県電だより

〈 新 春 号 〉



## 『 世界遺産登録を目指す宝の島・佐渡金銀山 』

撮影場所・撮影日／佐渡市下相川 (株)ゴールデン佐渡構内

平成23年11月

### 【コメント】

慶長6年(1601年)、三人の山師により発見された金銀鉱脈「道遊の割戸」露頭掘の跡。ノミとタガネで山を真っ二つ、以来徳川幕府の直轄鉱山として明治維新に至る迄、267年間幕府の重要な財源となった。稼動約400年間の産出量は金78t、銀2,278t、銅5,410tを産出し、坑道の総延長は400kmにも及びます。現在はその坑道の一部が観光ルートとして一般に開放され、当時の採掘風景を人形で再現し見る事が出来ます。

撮影者／新潟県電気工事工業組合

佐渡支部 (株)新日興業 金子 正勝 氏

表紙写真紹介

## 新潟県電気工事工業組合



# 目 次

|                                        |    |
|----------------------------------------|----|
| 1. 年頭のご挨拶 .....                        | 1  |
| 2. 平成24年度 消防関係試験実施計画 .....             | 5  |
| 3. 第28回電気工事業全国大会（中部・岐阜）に参加！ .....      | 12 |
| 4. 平成23年度「製・販・工懇談会」を開催 .....           | 14 |
| 5. 地域懇談会を開催（三条支部・十日町支部） .....          | 16 |
| 6. 各種表彰 .....                          | 17 |
| 7. 各支部だより .....                        | 18 |
| 8. 各青年部だより .....                       | 20 |
| 9. 組合員の異動・変更 .....                     | 25 |
| 10. 保険って？！ 自動車保険の新しい特約について（お知らせ） ..... | 26 |
| 11. 新潟県最低賃金の改定 .....                   | 27 |

## 『東日本大震災 復興応援イルミネーション』点灯中！

点灯期間：平成23年10月16日～（終了未定）

点灯時間：毎日17:00～21:00

点灯時間：長岡支部電気工事会館

〔長岡市西神田町2番4号〕

（天候や状況により変更する場合がございます。  
ご了承ください。）

（長岡支部青年部会）

※詳細は24ページの記事をご覧ください。



### 【表紙写真募集】

- ・県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- ・写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101



年頭のご挨拶

## 2012年 年頭挨拶

理 事 長  
小 林 功

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は当工組の事業運営に格別のご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年3月11日に発生いたしました「東日本大震災」は、マグニチュード9.0の千年に一度と言われるほどの巨大地震で、東日本一帯の強い揺れと、青森から茨城までの太平洋側が大津波に襲われ、死者・行方不明者が2万人以上に上るといふ甚大な被害となりました。

東北七県においても、青森・岩手・宮城・福島の前災地四県における組合員、家族並びに従業員の被害は、死亡及び行方不明56名、住宅の全半壊、浸水等424戸にのぼりました。

また、東京電力福島第一原子力発電所では東日本大震災により、冷却不能に陥った原子炉の建屋で相次いで爆発が起き、大量の放射線物質が拡散し、大惨事となりました。周辺住民の避難は現在も続き、多くの方々が不安で不便な生活を余儀なくされておられます。

原子力発電所事故を始めとした大震災による発電施設の被害で電力供給量が減少し、電力不足が予測されたことから計画停電が計画されましたが、企業、国民をあげて節電に取り組み、幸いにして計画停電の実施には至りませんでした。

東日本大震災を契機に、節電ばかりではなくこれまでの私達の生活のあり方についても見直しが必要とされております。

国内では、7月の新潟・福島豪雨、9月の台風12号等、東日本大震災の他にも自然災害に見舞われました。

政局では菅総理から野田総理へと首相交代があったものの、大震災の影響とともに長期国債の格下げや円高等が景気回復に暗い影を落とし、TPP交渉等困難な課題が山積しております。また、オリンパスや大王製紙で不祥事が相次ぎました。

このようななかで、なでしこジャパンのサッカー女子ワールドカップでの優勝は、とかく沈みがちな世相に活力を与え、小笠原諸島・平泉の世界遺産登録、建築中の東京スカイツリーは明るい話題でした。

一方、海外では、中東・北アフリカでアラブの春と呼ばれる動きが広がり、長期独裁政権が相次いで崩壊しました。経済面では、ギリシャの財政危機に端を発したユーロ危機が深刻化して、ヨーロッパ各国に信用不安が波及し、ギリシャ・イタリア等で政権交代が相次ぎました。

また、ニュージーランド・トルコの大地震、タイの大洪水等、海外でも多くの自然災害に見舞われました。

昨年、当工組では事業委員会を集約して、それぞれの委員会で事業を展開してまいりました。

総務委員会では、県本部と県内各市町村との防災協定の締結に取り組み、一支部で二市と防災協定を締結しましたが、実際の災害にあたって

の市町村からの協力要請のあり方等の課題もありました。

経営企画推進委員会では、夏場の電力不足への懸念から節電が強く求められていたため、提案型技術営業推進の一助として、効率化という節電を目的とした節電対策研修会を各支部で開催いたしました。また、組合員事業所の各種保険加入状況について見直しを行うため、リスクチェックサービスを推進いたしました。

技術委員会では、電気業界団体で構成する新潟県電気設備連絡協議会で電気自動車用充電設備設置講習会を開催するとともに、組合員事業所への充電設備設置を推進いたしました。太陽光発電につきましては、埼玉県工組で実施している太陽光発電設置のための認定訓練を、視察研修いたしました。

引込線事業委員会では、新たな引込線作業に対応するため、引込線会社に対して東北電力引込線委託工事（100mm<sup>2</sup>）作業訓練を実施いたしました。

また、低圧引込線以下工事標準作業マニュアルを改訂して、基礎訓練並びに各支部実技訓練で活用いたしました。

さて、本年は私ども業界を取巻く環境が依然として厳しいことから、これまで以上に効率的な組合事業運営に取り組んでまいります。

このためには、組合員が真に何を求めているのかを的確に把握し、組合員にとって魅力ある事業を実施することが必要であることから、総務委員会で組合員へのアンケート調査を実施して検討を行うことといたしました。

県内各市町村との防災協定の締結につつまし

ても、引続き取組んでまいります。災害時における各市町村との具体的な連携についても検討を行ってまいります。

経営企画推進委員会では、人材育成のために入社後の各世代を対象としたセミナーを開催いたします。また、電気業界団体との連携強化を図るため、引続き製・販・工懇談会を開催して、新たな事業展開を模索してまいります。

技術委員会では、埼玉県工組への視察研修を踏まえて、太陽光発電システム施工の推進のため検討を行ってまいります。電気自動車用充電設備につきましては、組合員事業所への設置普及に引続き努めてまいります。

また、電気工事士免状交付事務受託に向けて、取組んでまいります。

引込線事業委員会では、低迷する仕事量の確保のために、東北電力㈱に対しての要望・働きかけを行ってまいります。また、インストラクターに対する安全教育を実施して、安全作業に対する知識・技能の一層の向上に努め、支部実技訓練における指導の充実を図ります。

また、組合員皆様の事業発展のために、皆様からのさまざまな声を、東北七県電気工事組合連合会並びに全日本電気工事業工業組合連合会を通して、関係各位に要望してまいります。

終わりに、日頃お世話になっております関係諸官庁・諸団体、並びに東北電力㈱の皆様へ、今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、組合員皆様のご隆盛とご健勝を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

## 2012年 年頭のご挨拶

新潟県知事

泉 田 裕 彦

2012年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年、本県は豪雪、地震、豪雨など度重なる自然災害に見舞われ、さらに東日本大震災では地震、津波に加え原子力災害とこれまで経験したことの無い災禍が起き、まさに日本にとって試練の一年となりました。改めてこれらの災害で尊い命を落とされた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からお見舞申し上げます。

さて、日本の経済情勢は、東日本大震災の影響による消費の落ち込みや、歴史的な円高により依然として厳しい状況にあります。このため県としては、県内経済の活性化に向けて、設備投資を促進するため借入金利を実質的に下げる「マイナス金利」を実現し、投資の誘発や新たな雇用を生み出してまいりました。本年も設備投資を喚起する支援策を進めるなど、でき得る限りの対処を講じたいと考えております。

また、昨年は、電気の安定供給の貴重さ、電気の大切さについて意識を向ける一年でもありました。春から冬季に至るまで、県民・企業の皆様と県が一体となった節電に取り組んだ結果、県民生活や経済活動に影響のある計画停電を回避することができました。貴組合をはじめご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

さて、大震災後、エネルギー政策のあり方について様々な議論が行われていますが、防災上の観点からも、分散型の再生可能エネルギーの導入拡大を推進していくべきと考えております。

県では、「新潟県版グリーンニューディール政策」を平成21年度より進め、全国初となる商

業用メガソーラー発電所を開設したほか、電気自動車の普及促進、小水力発電の導入促進の取組や、今年度には家庭用太陽光発電設備の設置費用軽減による導入促進、粟島でのスマートコミュニティ実証などの取組を行っています。また、昨年末には実用レベルでの試験運転としては全国初となるバイナリー地熱発電の実証を松之山温泉で開始したところです。

貴組合におかれましても、地球環境・エネルギー問題に対する社会的関心に応えるべく、環境に配慮した新技術の調査・研究等にも意欲的に取り組まれておられ、最近では、電気自動車の充電設備の普及活動やLED防犯灯の設置、さらには、太陽光発電、スマートグリッド等の技術に関しての研究など、活発な取組を展開されておられます。こうした新しい分野への積極的な挑戦は、県全体での新エネルギーの導入促進にもつながるものと期待するとともに、貴組合が、時代の要請に応えながら優れた技術集団として大きく飛躍されることを期待しております。県としましても、一層の新エネルギー施策の展開を行っていきますので今後ともご理解賜りますようお願い申し上げます。

貴組合の皆様におかれましては、日頃より電気の保安を通じた県民の安心・安全の確保に努められていることに深く感謝申し上げますとともに、電気保安の確保、人材の育成、経営基盤の強化などに努められ、今後とも新潟県の産業の発展にご尽力くださるようお願いいたします。終わりに、貴組合のご発展と皆様のご多幸をお祈りしまして、新年のごあいさつといたします。



年頭のご挨拶

## 2012年・年頭のご挨拶

東北電力株式会社 上席執行役員 新潟支店長

大 山 隆 一

あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、当社に対しまして格別のご支援とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月11日に発生した東日本大震災および7月末の新潟・福島豪雨により、多くの発電所が甚大な被害を受け、夏場の電力需給が逼迫する状況となりました。このため、管内のお客さまに最大限の節電をお願いし、多くの皆さまに大変なご苦労とご不便をおかけしたことにつきましてお詫びを申し上げますとともに、皆さまのご理解とご協力により、計画停電を実施することなく乗り切れましたことに深く感謝申し上げます。

当社は被災した発電設備の早期復旧に取り組むとともに、自家用発電設備からの余剰電力購入等、今冬に向けた供給力確保に最大限の取り組みを進めているところであり、無理のない範囲での節電にご理解とご協力をお願い申し上げます。

こうした状況から、当社は新潟県を含む東北地域に根ざす企業として、一日も早い地域の復興に向けて次の取り組みを推進してまいります。

## &lt;再生可能エネルギーの利用拡大&gt;

当社はこれまで東北地域に適地の多い水力、地熱発電の導入、太陽光・風力発電の利用拡大など、再生可能エネルギーを積極的に活用してまいりました。当社の発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合は16%と国内では高い水準となっております。

風力発電については、当社はこれまで約55万kWを導入しておりますが、一層の導入拡大を図るため、新たに東京電力と共同で2社間の連系線を活用した実証試験を実施することとしております。また、風力発電の導入拡大に対する当社への期待が大きいことを踏まえ、2020年頃までに、新潟県を含む東北地域全体で200万

kWの連系を目指すこととし、この目標に向け連系拡大に取り組んでいくこととしております。

太陽光発電については、3地点でメガソーラー発電所の建設を計画しております。2011年12月には、当社初となる八戸太陽光発電所が営業運転を開始し、年間160万kWhの発電量を見込んでおります。

一方、震災後は、防災対策として、地域や住宅に設置した太陽光発電と蓄電池によるエネルギー自給についても期待が高まっております。当社は、こうしたエネルギー利用形態の変化に対して、復興地域での先行的な取り組みへの参加・協力を通じて安定供給とお客さまニーズを実現する次世代エネルギー供給システム（スマートグリッド）の構築に取り組んでまいります。

## &lt;エネルギーの利用効率向上&gt;

震災後においては、お客さまや地域の多様なニーズに対し、これまで以上にエネルギーの利用効率向上に資する取り組みを行っていくことが重要と考えております。

家庭用分野では、多くのエネルギーが消費されている給湯や暖房に、高効率なヒートポンプ機器をご利用いただくことが省エネルギーのカギとなります。そのため、貴組合の皆さまとのより一層の連携強化により、給湯での「エコキュート」をはじめ、暖房では高気密・高断熱住宅に「ヒートポンプ暖房」をご提案するなど、快適で省エネな生活の実現に向けて、お手伝いをしてまいります。

## &lt;ゼロ災害に向けて&gt;

昨年8月に当社が業務委託をした引込線の撤去作業において、安全帯ロープが切断し、作業員の方が電柱より墜落する重傷災害が発生しました。本災害については、既に貴組合の皆さまに情報提供を行なっておりますが、同様の災害

が発生しないよう、日頃から安全帯を含めた工具類の点検を行うなど、安全を最優先した作業に努めていただきますようお願いいたします。

当社は創立から60年という歴史の中で最も厳しい局面を迎えており、東北地域の再生・復興への道のりは長く、幾多の困難を伴うことになるかもしれませんが、「朝の来ない夜はない」

と語りかけ、企業グループ社員全員が心をひとつに総力を結集し、地域の皆さまとともに、新たな未来づくりに取組んでまいります。

終わりに、貴組合の皆さまのご家族を含めて健康と安全に留意され、益々ご発展されますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 平成24年度 消防関係試験実施計画

(財) 消防試験研究センター 新潟県支部

### 1. 危険物取扱者試験実施計画

#### (1) 試験日、受付期間、試験の種類及び試験場所

| 試験日             | 受付期間                        | 試験の種類                   | 試験場所             |
|-----------------|-----------------------------|-------------------------|------------------|
| H24. 5. 20 (日)  | H24. 4. 2 (月) ~ 4. 18 (水)   | 甲 種 第1~6類<br>乙 種<br>丙 種 | 新潟市 長岡市 上越市 新発田市 |
| H24. 7. 15 (日)  | H24. 5. 21 (月) ~ 6. 6 (水)   | 甲 種 第1~6類<br>乙 種<br>丙 種 | 新潟市 長岡市 上越市 佐渡市  |
| H24. 9. 8 (土)   | H24. 7. 17 (火) ~ 8. 1 (水)   | 甲 種 第1~6類<br>乙 種<br>丙 種 | 新潟市 長岡市 上越市 三条市  |
| H24. 11. 18 (日) | H24. 9. 24 (月) ~ 10. 10 (水) | 甲 種 第1~6類<br>乙 種<br>丙 種 | 新潟市 長岡市 上越市      |
| H25. 3. 9 (土)   | H25. 1. 15 (火) ~ 1. 30 (水)  | 甲 種 第1~6類<br>乙 種<br>丙 種 | 新潟市 長岡市 上越市      |

### 2. 消防設備士試験実施計画

#### (1) 試験日、受付期間、試験の種類及び試験場所

| 試験日             | 受付期間                      | 試験の種類                             | 試験場所        |
|-----------------|---------------------------|-----------------------------------|-------------|
| H24. 6. 3 (日)   | H24. 4. 9 (月) ~ 4. 25 (水) | 甲 種 第1~5類<br>乙 種 第1~7類            | 新潟市 長岡市 上越市 |
| H24. 10. 14 (日) | H24. 8. 20 (月) ~ 9. 5 (水) | 甲 種 特 類<br>甲 種 第1~5類<br>乙 種 第1~7類 | 新潟市 長岡市 上越市 |
| H25. 2. 23 (土)  | H25. 1. 7 (月) ~ 1. 23 (水) | 甲 種 第1~5類<br>乙 種 第1~7類            | 新潟市 長岡市 上越市 |

(財) 消防試験研究センター 新潟県支部

※受験願書、免状の書換え申請書は、支部及び県内の消防署で3月中旬頃から配布をする予定です。  
※詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 7階 703号  
TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011 <http://www.shoubo-shiken.or.jp>



年頭のご挨拶

## 組合活動の中期計画の作成と活性化に向けて

総務委員長

本 山 秀 樹

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、皆様には穏やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年3月11日に発生した東日本大震災と福島第1原発事故は今尚被災地に大きな傷跡を残していますが、ようやく復興の動きも出て来たようであります。あの震災後、節電、電気エネルギーのあり方など私たち業界、組合を取巻く環境は、昨年来大変厳しいものがありますが、「安心、安全」な電気供給、強い組合組織の構築に向け改めて組合のあり方、組合活動の方向性を総務委員会として検討していきたいと思っています。そのような中、早急に取り組まなければならない問題は、組合員の高齢化と後継者問題であります。毎年のように県内の組合員数は減少を続けています。この事が組合活動の停滞と直接結びついていると言っても過言ではありません。魅力ある組合活動、事業を考え、なお一層の会員増強を目指して行きたいと思ひます。そのために、今年度中に「組合員の実情・ニーズの把握」のために全組合員を対象にアンケート調査を実施します。忌憚のないご意見をいただき、組合活動の中期計画を作成し組合組織の見直しを図りたいと考えていま

す。また、新潟県電気工事工業組合と新潟県は「災害時の応援業務に関する協定」を結んでいます。今後起こりうる災害に対し災害の予防、応急対策及び災害復旧に関して当組合の応援、役割を明記したこの協定を昨年も各支部が中心となり幾つかの県内市町村と結びましたが、さらに当組合のイメージアップと社会貢献、地域貢献活動の一環として推進して行きたいと考えています。

恒例の三役、総務委員会と各支部の地域懇談会を昨年は、十日町支部と三条支部で開催しました。両支部とも、その地域に密着した事業を独自に展開されていた事に感心しました。また、さまざまな問題、組合活動にご意見、ご質問を頂き感謝申し上げます。

最後になりましたが、総務委員会の活動として県工組市町村議員協議会との懇談会を例年3月に開催しています。顧問の佐藤参議院議員様、塚田参議院議員様、相談役の市川県会議員様、高倉県会議員様を交えての懇談会ですが、公共事業費等が地方を中心に削減されている現状を踏まえ県工組政治連盟としての意見具申を三役と共に積極的に行なっていきたいと思ひます。組合員皆様のご協力をお願い申し上げます。



年頭のご挨拶

**「挑戦」、それは大きなチャンス！**

経営企画推進委員長

**斎 藤 賢**

新年あけましておめでとうございます。日頃は経営企画推進委員会事業に多大なご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて昨年を振り返ってみますと、予想がつかない大きな自然災害が発生したことに加え、政局の不安定感、しいては経済においても円高が進み、とりわけヨーロッパをはじめとした世界各国間の緊張感が感じられる昨今ではないかと思われます。

そのような情勢のなか電気業界の市場は「省エネ」「創エネ」「新エネ」「蓄エネ」の「4エネ」が大きな話題となり、我々電気業界においてもその対応を大いに考える時代に突入したと言えるでしょう。昨年11月に開催しました「製・販・工懇談会」におきましても、今後の業界の進むべき方向性など多くのご意見を頂戴いたしました。今後は「製・販・工」がスクラムを組んだ取組み姿勢を考えつつ他業界に負けない組織を構築する必要性を感じたところです。

また「リニューアル、リフォーム需要」への対応では、「新築需要」とは違いお客様が現場におられます。工事施工中、お客様は言葉にはしないながら、我々の仕事ぶりを詳細に見ておられることが多いようです。そのようなことから

も実務経験概ね5年以上を経験された社員さんを対象に「電気工事士キャリアアップセミナー」を4月に開催させていただく予定にしております。残念ながら、昨年は東日本大震災の影響で、開催を見合わせましたが、技術、技能だけでなく社会人としてあるいはお客様への対応など、幅広い内容を準備させていただきます。「あの電気屋さんに頼んでよかった！」この一言をお客様から勝ち取っていただき、生涯顧客へ結び付けつつ「現場施工は営業活動でもある」ことを再認識していただきながら、2月に開催予定の「リーダー育成セミナー」も含めひとりでも多くのご参加をお待ち申し上げます。

一方、保険業務につきましては、保険加入の促進が当委員会のテーマとなる反面、各社別保険カルテの配布をもとに現状の保険加入状況の見直しを目的とした、保険契約内容等における「リスクチェックサービス」を本格的に開始いたしました。契約や補償内容が各社の状況に見合ったものかどうか、補償内容に重複がないかどうか、経費節減ではどのような契約がよいのか、専門家から無料でチェックしていただき、自己防衛の充実をよろしくお願い申し上げます。組合員皆様の益々のご理解、ご協力のもと、本年もよろしくお願い申し上げます。



年頭のご挨拶

## 新たな時代の技術展望

技術委員長

齊 藤 隆

新年あけましておめでとうございます。

昨年より下條委員長に代わり技術委員会委員長を仰せつかりました、長岡支部の齊藤で御座います。不慣れ浅学の為皆様にご迷惑をお掛けする事も多々有りますが、お許し頂き御指導御鞭撻を宜しくお願い致します。

不況になれば成るほど、中小零細企業から疲弊すると昔から言われて来ましたが、まさに今がその時ではないでしょうか。(最近まで零細企業は差別用語で禁句だった様な気がしますが、今では堂々と使われる様な気がします?) 最近家電大手メーカーや、自動車大手メーカーも大変の様です。しかし、大手はさて置きまして、大きく変わる大変な時代に私達は居ます。例えばLED照明と太陽光パネルに注目をしてはどうでしょうか。

皆様も御承知の様にLEDは元素の結晶体に電気を送り光に換え、理論上は半永久に光り続けますと言われて居ます。太陽光パネルは、全くその正反対で光を当てれば電気が作れ、理論上はLEDと同じ半永久に、電気を作り続けられるとされて居ます。ただ周辺機器の問題が有ると指摘されて居ます。しかし最近の周辺技術は容量等見直しなど、色々革新的に延命処置が施されて、長寿命に成って来て居ます。

近年は太陽光パネルの発電容量も、面積当たり非常に伸びて来て居ます。又LEDの情報で、今年2月頃新聞発表に成ります、東北大学の国際特許で消費電力当たり、今の約2倍の光束が出るLED製造機が発表されます。そして、其のソフト付き製造機で世界を席卷したいと、有る企業の社長は話して居られました。

話が反れましたが、電力供給側は太陽光パネ

ルを設置する事で、石油石炭等で発電する火力発電を無くし又原子力発電も極力減らし、地球に優しく、安心安全、コストの掛からない発電を行ないます。電力を消費する方は、照明に関しては今のところLED照明を使用する事で大幅に電力消費を減らし、今までの生活パフォーマンスを保ちながら低コストエネルギー社会に移行します。今話題のスマートグリッドの一部だと考えます。

メガソーラ発電は、大資本、ファンドにお任せし、私達は自ら施工した住宅に、又新築住宅、商業施設、公共施設に設置を進めて行きます。当然、太陽光パネルは保守、点検も付いてきます、私達でなければ出来ない仕事だと思います。LED照明も然り、積極的に進めて行きましょう。当然、LED照明は今までの電球と違い、電子機器ですから修理も出てきます。こう考えると、我々の仕事は追い風の中に居るわけです。

第4の産業革命と言った人が居ましたが、将に我々は剛直にならずしなやかに、事業活動を実行して行けば良いと思います。技術委員会としては益々新商材を研究し情報集収し、組合三役、又理事の皆様にご理解と御協力を仰ぎながら、上部団体にお願ひすべきはお願ひして頂き、組合員様へ情報提供をし、皆様の仕事がい易く成る様な事業運営を進めて行きたいと思ひます。今までの仕事、電力さんの仕事をきっちりやりながら、中小零細企業にしか出来ない新しい商材を旨く活用し、1社1社の発展を図れる様に我々技術委員会は考えています。今年も組合員皆様の益々のご健勝をお祈りし、新年の抱負と致します。



年頭のご挨拶

## 引込線事業委員会の活動について

引込線事業委員長

横 田 良 英

新年あけましておめでとうございます。

昨年より引込線事業委員長を務めさせて頂いております。日頃は、引込線事業に関しまして、多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、東北地方を襲った雪害また東日本大震災など千年に一度といわれる大災害に見舞われ、やれやれと思った矢先までも水害に見舞われるという、これでもかというほどの天災に悩まされた一年となりました。我々の周りのあらゆる環境を見渡しても明るい兆しは見えにくく閉塞感に包まれているという状況かと思えます。引込線工事についても、いまのところ昨年比△10%という2年連続の大変厳しい数字となっております。

しかしながら少しずつではありますが復興に向けた動きもみられ、今しばらく体力を蓄えておく時期なのかと考えるしだいです。

この様な環境の中、年度当初より我々の委員会としては、引込線会社連絡協議会の意見を踏まえながら、仕事量の拡大に向けて、関係各位と協議を重ねさせて頂いており、東北電力㈱に対し要望させて頂いておりました引込委託の施工範囲の拡大については、まず100mm<sup>2</sup>の引込線委託工事について、昨年10月より引込線会社にて施工開始させて頂いているところでありま

す。また、増加傾向にある、空中分岐の引込線工事も委託工事となるように、取組んで頂いているところであります。

加えて施工制限を受けているNTT管理柱につきましても、再開の方向で検討を進めて頂いております。

そのような中、委員会としては「安全第一」を掲げ、絶対に事故をおこさないということを柱に、「基本を大切に」を実践してまいりました。昨年6月には、各方面より要望の強かった、「改訂 標準作業マニュアル」を東北電力㈱新潟支店・配電部様よりご監修を頂きながら発刊させて頂くことができました。関係者の皆様方大変ありがとうございました。また、従業員の労働災害防止に大きく貢献するツールである『危険予知訓練』に関しては講習を充実させるため単独の開催とし、予想を超える参加者の中開催されたところであります。

非常に厳しい社会環境の中ではありますが、様々な変化に対し、スピーディーで適切な対応を取るために、皆様方の英知をお借りしながらこの難局を乗り切って参りたいと考えておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

## 祝30周年

「楽しんでいこー新潟県青年部！」

青年部会長

品 田 史 夫

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、青年部の活動に多くの皆様から格段のご配慮をいただきましたこと、心から厚く御礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災では、青森、岩手、宮城、福島各地が被災しました。福島県では、震災による被災に加え原子力災害も発生しました。この震災は、我々新潟県を含む東北七県電気工事組合連合会の仲間の地域を直撃しました。お亡くなりになられた我々の仲間を含め皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々の早期復興をお祈りいたします。

## 1. 目標

昨年6月の県青年部会長就任時に掲げさせていただいた目標です。

- (1) みんなで集まって、仲間作り！
- (2) 仲良くなったら、お互いの仕事のネットワーク作り！
- (3) 新潟県青年部楽しんでやりましょう！  
スローガン  
「楽しんでいこー新潟県青年部！」

上記を目標として活動してきました。4つ目を加えるとすれば、それぞれの会社の利益につながる活動を、積極的に取り入れることが重要と考えています。

## 2. LED照明とEV充電コンセントの普及啓発実践事業

昨年10月の移動理事会からスタートした「LED照明とEV充電コンセントの普及啓発実践事業」も、皆様の会社の商売につながるものと確信し実施しています。

これは、全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連）の方向性と歩調を合わせるものです。（平成23年7月16日の日経新聞に記事掲載）

全日電工連・全日本電設資材卸業協同組合連合会・協賛電気設備メーカー（パナソニック㈱・三菱電機㈱・東芝ライテック㈱）が協力する事業です。工・販・製の三位一体で取り組み、活動の共有を図りお客に共通の印象を与え、より一層の相乗効果を目指すことが目的です。

- (1) 実践的活動として、まずは自社から導入しよう！

新潟県街中充電ネットワークに登録するとともに、EV充電コンセントとLED電球・LED照明器具を、新潟県青年部13支部の約250社に導入を目指します。

- (2) 次に実践営業・実行あるのみ！

自社のお客様にEV充電コンセントとLED電球・LED照明器具を営業展開し、各社の売上向上に貢献します。

昨年からスタートしたこの事業の一層の拡大のため、各社の売上向上のため、皆様のご協力をお願いいたします。

### 3. 新潟県青年部13支部訪問

私のわがままから各支部青年部の皆様にご協力をいただきながら、新潟県青年部13支部訪問を実施してまいりました。

8月の燕支部を皮切りに、柏崎、長岡、三条、上越、村上、新発田、十日町、魚沼、小千谷まで、昨年中に10支部青年部の皆様と交流をさせていただきました。今年4月までには13支部全てを訪問する予定です。

これまでの印象ですが、どの地域にお邪魔しても青年部の皆さんが仲良くやっている、楽しんでやっている印象があります。一方問題点として、支部会員数の確保や自主財源の確保が難しい支部が多いようです。支部で行う行事に関しては、地域で開催するイベントへの参加、イルミネーションの設置、ボランティア事業への参加、高圧器具の耐圧試験の協力などがありました。

また、我々と一番近い電力会社である東北電力(株)との良好な連携構築が顕著な支部がいくつかありました。東北電力(株)営業所の中に元気の良い若手社員がおられると、支部青年部とがっちりタッグを組んで、お互いのための活動を展開している状況を確認しています。大変良いことだと感じましたので、今後全県への波及を模索したいと考えています。

### 4. まとめ

各支部青年部の仲間から積極的な活動、大きな力が生まれてくることを感じています。やはり電気工事業界を牽引するのは青年部の若い力にあります。次代を見据え、次の手を一緒に考えましょう。

今年は新潟県青年部創立30周年記念事業を9月に予定しています。重ねてご協力をよろしくお願いいたします。今年も楽しんでやりましょう！

(参考)

上杉謙信公より

「運は天にあり。鎧は胸にあり。手柄は足にあり。何時も敵を掌にして合戦すべし。疵つくことなし。死なんと戦えば生き、生きんと戦えば必ず死するものなり。

家を出ずるより帰らじと思えばまた帰る。

帰ると思えば、ぜひ帰らぬものなり。不定とのみ思うに違わずといえ、武士たる道は不定と想うべからず。必ず一定と思ふべし」

(直訳)

およそ運命とは天がお決めになる事だが、しかし、戦において生き抜く事、勝利する事は、自らの胸にある信念や行動により決まる。だからこそ、戦は天命を頼りとせず、常に自ら行動や信念を頼みとすべし。

天命に任せず、自分の手で敵を転がすように戦え。

死ぬ気で戦えば生きて勝利者となるだろうが、生き残ろうとするだけなら死ぬことになるだろう。

自らの家を出た時から、もはやこの家には戻らないという固い決意であるからこそ、また戻ることができるのだ。

武士の道とは、運だけで決められているものではない。

武士なら自らの進むべき道は、自らで考え、行動してこそ生まれるものだ。

(私達の商売に通じるところはありませんか。)



## 第28回

# 電気工事業全国大会(中部・岐阜)に参加!

10月25日、全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連）主催、中部電気工事業組合連合会主管、岐阜県電気工事業工業組合企画運営による第28回電気工事業全国大会（中部・岐阜）が、岐阜県岐阜市において、全国の組合員、青年部、ご来賓など約2,000名参加のもと盛大に開催され、当工組からは親会5名、青年部7名、事務局2名の計14名が参加しました。

今回で第28回目となる本大会は、メインテーマに『“がんばろう日本!”「スペシャリストとしての挑戦!」』、サブテーマに、

- ①エコ・新エネ・環境社会と電気工事業界
- ②パーフェクトな保安の確保
- ③若き世代へ、すべてを伝承

の3つを掲げ、午前中に岐阜都ホテルにて「意見交換会」、午後からは長良川国際会議場にて「基調講演」、「大会式典」、「交流会」等が開催されました。また、長良川国際会議場では、メーカー展示コーナー、地元物産販売コーナー、東北名産コーナーも併設されました。



会場前にて記念撮影（親会）

午前9時より行われた「意見交換会」には、全国の組合員、青年部合わせ800余名が参加。全83テーブル、3分科会に分かれ、『“進化 更なる挑戦!”「我々が、今できること・すべきこと、そしてあるべき姿とは・・・」』をテーマに、第1分科会では『「経営の進化」業界を見



会場前にて記念撮影（青年部）

据え自社を考える』、第2分科会では『「技術の進化」今後を見据えた技術を考える』、第3分科会では『「組織の進化」組合員として組織を考える』について、活発な意見交換が行われました。本意見交換会には、当工組親会から小林理事長、斎藤理事の2名、県青年部から品田会長はじめ7名の計9名が参加しました。

続いて、13時より行われた「基調講演」では、中日新聞社代表取締役社長の小出宣昭氏より『デジタル社会の落とし穴ー大震災が教えるものー』をテーマにご講演いただきました。

続いて14時50分より行われた「大会式典」では、米沢寛全日電工連会長の主催者挨拶、ご来賓挨拶、全日電工連会長表彰（組合役員功労）、東日本大震災義援金贈呈、大会決議（別掲）、青年部「提言」発表、次期開催地挨拶等が執り行われました。

大会式典終了後、会場を移して行われた「交

流会」では、終始和やかな雰囲気の中、全国の組合員、青年部の皆様との交流を深めることができました。

日本のまん真ん中岐阜で、全国の組合員、青年部の皆様と交流を深めるとともに、スペシャ



意見交換会グループディスカッション

リストとしての誇りと次世代に向けた新たなる技術向上への挑戦を確認し合った大変素晴らしい全国大会でした。今大会の開催にご尽力されました関係者の皆様、大変ありがとうございました。



大会式典

(別 掲)

## 第28回電気工事業全国大会

### 「大会決議」

未曾有の大災害を被った東日本大震災から8ヶ月、被災地の方々は、固い絆のもと復興に向けて懸命なご努力をされております。

我々はその悲慘な体験から、電気工事業としての非常時のあり方をはじめ数多くの教訓を学んでおります。

電気は、我が国経済を牽引し、国民生活の根幹をなすクリーンエネルギーであります。

電力供給力不足が懸念されている現在、全国4万組合員の力を結集し、電気技術者の立場から社会貢献に向けて、積極果敢に行動していくことが求められております。

“がんばろう日本”『スペシャリストとしての挑戦!』をメインテーマに掲げ、戦国時代、美濃を制する者は天下を制すと謳われ、市内を清流長良川が流れる岐阜市において開催いたします本大会では、地域社会の皆様に対し、安全・安心・快適を提供するための、提案型技術営業を更に進化させる施策の方向性ならびに具体策の検討

とともに、意見交換会においては、組織の進化、技術の進化、経営の進化について、基調講演ならびに各界のご提言も頂きながら熱心な討議を致しました。

本日ここに全国各地から参加した組合員代表・青年部代表の総意として次の通り決議するものである。

1. 国民から信頼される技術者団体に相応しい社会貢献による存在意義の確立をめざす。
2. 電気設備を核とした総合設備サービス業として、お客様との信頼関係に基づく、快適便利なエネルギーの有効利用、安全・安心な電気設備の提供を前提とした提案型技術営業の展開加速をめざす。
3. 次代を担う若き世代への伝承により業界の活性化をめざす。

以上、関係行政、関係団体・関係会社等のご指導ご支援を頂きながら、組合員の一致結束のもと邁進することを決議する。

平成23年10月25日

第28回電気工事業全国大会

## 平成23年度「製・販・工懇談会」を開催

### 『Catch the big wave!』をメインテーマに 三つの分科会でグループディスカッション

11月24日、経営企画推進委員会（斎藤賢委員長）事業の一環として、平成23年度「製・販・工懇談会」がホテルイタリア軒において開催された。

本懇談会は『Catch the big wave!』をメインテーマに掲げ、当工組から三役・技術委員長・経営企画推進委員（エコ研究部会員）、事務局の14名、新潟県電設資材卸業協同組合から谷井理事長はじめ8名、電気機器メーカー3社から7名の計29名が出席した。

本懇談会は昨年度同様、分科会形式をとり、テーマ別に三つの分科会にわかれグループディスカッションを行った。

最初の全体会議第1部では、はじめに当工組小林理事長より出席者への御礼が述べられたのち、「この製・販・工懇談会も回を重ねるごとに大変中身の濃い素晴らしい懇談会になってきたと感じている。東日本大震災以降の節電、省エネ意識の高まりのなかで、本日の分科会のテーマにもあります「節電をビジネスチャンスに！」等、様々なテーマを真剣になって議論し、我々の商売に繋げていかなければならないと考えている。我々を取り巻く環境は大きく変化しているが、その変化を良い方向に解釈してこの不況を乗り越えていきたい。本日は三つの分科会で各団体が設定したテーマを議論し、最後に座長の方々から発表していただきますが、本日の懇談会の成果を、各団体、各社に持ち帰っていただき、是非、今後の商売に繋げていただきたい。」と開会挨拶が行われた。

続いて、当工組の斎藤経営企画推進委員長より、各団体から提出された三つの分科会テーマの内容等について説明が行われ、「今回のメインテーマである『Catch the big wave!』。日本の、社会の、業界の、そして我々の身近な部

分における今までにない、そしてまったく経験をしたことがないこの大きな大きな荒波をしっかりととらえつつ、製・販・工が三位一体となり原点を見つめ、足元を見据えたなか、この大きな荒波に立ち向かっていく方向性を示そうではありませんか。どうか本日まで出席いただきました皆様には、この大きな荒波を越えていくべく建設的かつ前向きなご意見を昨年以上に頂戴し、情報提供、情報収集を通じ、我々電気業界の未来を大いに語り合おうではありませんか。」と趣旨説明が行われた。



全体会議 第1部

全体会議第1部終了ののちは三つの分科会（A・B・C）にわかれ、各団体から1名ずつ選出された座長を中心に、少人数でグループディ

スカッションが行われた。

分科会Aは「節電をビジネスチャンスに！」をテーマとし、はじめに「節電」ビジネスに対する現状の取り組みについて各団体の取り組みの現状報告、現状の分析と方向性の確認を行い、続いて、節電をビジネスチャンスにするため、今後、3団体でどの様に取り組んでいくのか、市場に対しどの様にアプローチし役割を分担していくのか等の議論が行われた。



分科会A

分科会Bは「時流対応商品の拡販についてPARTⅢ」をテーマとし、昨年度に引き続き、太陽光発電とLED照明、スマートグリッド等について、各団体の現況報告とそれぞれの団体に対する要望、質疑応答を中心に意見交換が行われた。



分科会B

分科会Cは、これまでの設定テーマとは少し視点を変え、「見つめ語り合おう！組合の原点」

をテーマとし、はじめに各々の組合についての組合の考え方、原点、そして過去・今・未来の組合のあり方・メリット・魅力について議論し、続いて、お互いの組合の関係、問題点、今後のあるべき姿について意見交換が行われた。



分科会C

各分科会終了ののち全体会議第2部に移り、各座長から分科会での討議内容の発表が行われ、引き続き、製・販・工が一致団結協力し、今回討議された諸課題・諸問題に連携を図りながら取り組んでいくことを確認した。

最後に、新潟県電設資材卸業協同組合の谷井理事長より、「本日の懇談会が盛況のうちに終了できたことを心から喜んでいる。ご出席者皆様の熱のこもった議論、そして座長の方々から発表をいただき誠にありがとうございました。私は分科会Bでスマートグリッド等の夢のようなテーマを議論させていただいたが、世の中はその様な方向に向かってはいるものの、今後、具体的に我々の商売にどの様に結びついていくのか未知数であり、まだまだ世の中との時間差があると考えている。この様な時に大事なことは、情報を集め、その情報を共有し、新技術が実現化された際にすぐ対応できるような体制づくりであり、その意味で、本日の懇談会は誠に意義があったものと考えている。本懇談会が今後とも末長く継続するよう祈念しております。」と挨拶が行われ、平成23年度「製・販・工懇談会」は終了した。

## 地 域 懇 談 会 を 開 催

本年度の地域懇談会が、三条支部並びに十日町支部において開催されました。

地域懇談会は支部組合員と県本部役員が組合活動全般に関する意見交換を行い、地域ニーズを把握し一層的確な組合運営を図ることを目的に、毎年度各支部を廻って開催されるものです。

懇談会は両会場とも、本山総務委員長の開会、小島副理事長の進行ではじまり、小林理事長より組合の活動状況並びに東北七県電気工事業厚生年金基金、全日電工連国民年金基金の概況等について、各副理事長並びに総務委員長より担当委員会の活動状況等について説明が行われた後、支部組合員との意見交換に移りました。

### 「 三 条 支 部 」

11月14日、三条市の饞心亭おゝ乃で三条支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員他11名、三条支部より組合員他21名、合計32名が出席しました。

懇談会では、引込線工事に関する仕事量確保や電力工料の価格交渉、幅広い補償内容の保険斡旋、東北七県厚生年金基金の現状、市町村との防災協定締結の効果などについて活発な意見交換が行われました。



三条支部 大原支部長挨拶

### 「 十 日 町 支 部 」

11月2日、十日町市のラポート十日町で十日町支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員他9名、十日町支部より組合員他21名、合計30名が出席しました。

懇談会では、公共工事設計労務単価に関する組合員の認識向上、東北七県厚生年金基金の現状、賦課金軽減の要望、引込線工事会社の役割・意義など活発な意見交換が行われました。



十日町支部 庭野支部長挨拶



三条支部組合員との意見交換



十日町支部組合員との意見交換

## 第25回

## ▼消防設備保安功労者表彰

**消防設備保安功労者表彰**

去る11月2日、第25回新潟県保安大会表彰式が新潟県庁講堂で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保安功労者として当工組理事の荻荘賢一氏が、地域社会における消防用設備及び火災報知機等の普及推進と、消防設備に係る安全保安管理体制の充実に尽力した功績により、新潟県知事から表彰された。



株式会社 荻荘電機  
代表取締役社長

荻荘 賢一 氏

(新潟支部)

## 平成23年度

## ▼消防設備保守関係者表彰

**消防設備保守関係者表彰**

去る11月4日、平成23年度の消防設備保守関係者等表彰式が、東京都港区明治記念館で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保守関係者として当工組監事の小名隆一氏が、地域社会の消防設備の普及及び維持管理、並びに率先垂範して点検業務に取組み安全保安管理体制の充実に尽力した功績により、(財)日本消防設備安全センター理事長から表彰された。



三浦電機 株式会社  
代表取締役

小名 隆一 氏

(新潟支部)

社会ニーズに素早く応え、人間らしく、豊かで  
快適な生活環境をサポートします。



大阪ヒューズ株式会社

仙 台 支 店

〒980-0014 仙台市青葉区本町1丁目10番3号

TEL 022(225)7577 FAX 022(225)3288

関連会社：株式会社オーエフ青森

青森県弘前市大字岩賀1丁目5番地の1  
TEL0172(37)5604 FAX0172(37)5603

## 柏 崎 支 部

## 柏崎市の紅葉名所「松雲山荘」

松雲山荘（市内緑町 3 - 1）は大正15年に十数年かけて造られた情緒たっぷりの日本庭園です。

赤坂山公園（春は桜の名所）に隣接し、昭和46年に柏崎ガス株式会社の創立者である飯塚謙三氏から柏崎市へ寄贈された庭園です。燈籠、石碑、太鼓橋、池などが品良く配置されていて、赤松やもみじ、つつじなど数々の植物が四季折々、見る者の目を楽しませてくれます。

夜になり、色づいた木々がライトアップ（10月29日から11月23日まで）されると、そこは幻想的で美しく、ロマンチックな空間になり、昼間とは違う顔を見せてくれます。

秋の夜長をゆっくりと楽しむことができます。

数年前にはテレビニュース番組で紹介されたこともありました。今年は、新潟日報11月9日の一面に大きく写真、記事が掲載されました。

また、ライトアップ期間中は、園内にある木村茶道美術館も夜間開館しており、所蔵品の茶

碗を使ってお茶を味わうことができます。作法がわからなくても大丈夫とのこと。

紅葉を見ながら国宝級茶碗でお抹茶をいただけます。野外茶席もあり、紅葉を眺めながら、心穏と時をお過ごしいただけます。

木村茶道美術館公式ホームページ

<http://sadoukan.jp/index.html>

尚、このライトアップには平成20年度より柏崎市から工事委託を受け、当工事組合も照明工事で役立たせていただいております。

毎年、この時期10月29日から11月23日・ライトアップ午後5時～午後9時まで

<ライトアップについてのお問合せ先>

柏崎市観光交流課 TEL：0257-21-2334

是非、一度柏崎にお立ち寄りください。



紅葉ライトアップ



ライトアップ用照明

## 上 越 支 部

## 支 部 活 動 近 況

<妙高市・糸魚川市と上越支部との  
防災協定締結>

9月15日妙高市及び10月20日糸魚川市と、災害時に備えた応援協定の調印式が行われました。協定は災害時における(1)災害対策用建築電気設備の提供及び斡旋、(2)市管理公共施設のうち、建築電気設備に関する被災状況の調査、(3)施設被害のうち、建築電気設備に関する応急対策工事等の内容になっています。

調印式で市長からコメントを頂きましたのでご紹介します。入村妙高市長より「初動の対応で食い止め、被害を大きくしないと云う事につながる。お力をお借りし、万が一に備えたい。」米田糸魚川市長より「協定は心強い、安心安全と減災につながる。不測の事態に備え連携して、災害に備えたい。」と頂きました。

本山支部長より両市長に対しまして「災害はあってはならないが、いざという時には協定に沿って、上越支部・県工組が連携し組織力で対応させて頂く」と挨拶し、無事調印式が終了しました。今後上越支部は、上越市との調印を予定しています。



妙高市との防災協定締結



糸魚川市との防災協定締結

## &lt;第一種電気工事士技術講習会を開催&gt;

今年で2回目となる実技試験前の講習会を、支部技術委員会を中心に計画したところ、9名の皆様に参加されました。講師の梨本委員長の挨拶から始まり、戸惑いながらのスタートでしたが、全員が経験者のため、順調に進みました。今回参加された9名の内受験者は5名、全員が合格される事を願っています。受講生の皆様及びご指導願った講師の皆様、お疲れ様でした。



第一種電気工事士技術講習会

## &lt;雁木通りプラザイルミネーション設置作業&gt;

上越支部青年部会 宮崎会長より

今年もレルヒ祭イルミネーション設置作業をさせて頂きました。昨年は好評を頂き、2度目の設置となります。今回はLED電球の数も増やして、更に市民の皆様に注目をして頂けるよう、工夫いたしました。点灯期間は平成23年12月10日から平成24年3月31日までとなっておりますので、是非お出かけ下さい。これからも皆様に喜ばれるような活動をして行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



青年部によるイルミネーション設置作業

## 県 青 年 部

## 平成23年度 移動理事会・実践営業セミナーを開催！

県青年部（品田史夫会長）は、10月14日に越後湯沢温泉「いなもと」にて移動理事会、創立30周年記念事業準備委員会（楠貞雄委員長）情報委員会（池田英夫委員長）、経営・技術委員会（高橋重尚委員長）並びに実践営業セミナーを開催し、親会の吉田副理事長、県青年部理事・監事・顧問・陪席29名、地元魚沼支部青年部12名、事務局1名の計43名が出席しました。

移動理事会では、議長に星野泰助副会長（燕支部）を選出し、下記議案について審議を行いました。

〔第1号議案〕収支中間報告について

〔第2号議案〕LED照明とEV充電コンセントの普及啓発実践事業について

〔第3号議案〕その他

第2号議案の「LED照明とEV充電コンセントの普及啓発実践事業」は、今年度の新規追加事業として提案され承認されました。具体的な事業内容は、ステップ1としてLED照明とEV充電コンセントを、県下13支部の青年部各社（約250社）に導入を目指す。ステップ2として「実践営業セミナー」の開催。ステップ3として自社のお客さまにLED照明とEV充電コンセントを営業展開することとし、今後は、経営・技術委員会主導の事業として取り組むことといたしました。

移動理事会と各委員会終了後、早速、LED照明とEV充電コンセントの普及啓発実践事業のステップ2にあたる「実践営業セミナー」を開催し、講師には東北電力㈱新潟支店 お客さま本部 営業開発部長の上野靖夫様をお迎えし、「人は動けば何とかなる！さあ働くぞ！」を演題

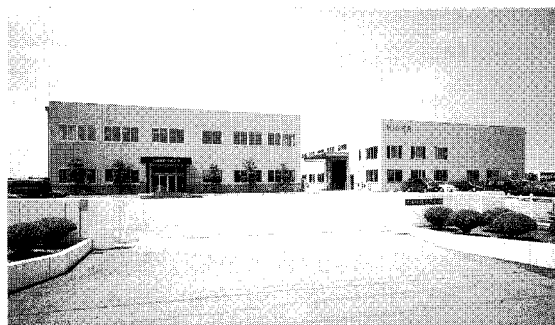
に、営業に関する心構えや実践的なノウハウをご講演いただきました。

セミナー終了後は、地元魚沼支部青年部会員の皆様との懇親会も開催し、越後湯沢の地で大いに交流を深めました。



実践営業セミナー

## 先進技術による 配電盤と電気工事



東港工場



### 三浦電機株式会社

代表取締役 小 名 隆 一

本 社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025) 274-0381  
FAX (025) 274-0385  
柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 TEL (0257) 24-3739  
東 港 工 場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (025) 255-4201

## 県 青 年 部

## 平 成 23 年 度

## 「青年部経営セミナー ～財務・基礎編～」を開催！

11月29日、県青年部（品田史夫会長）と新潟県中小企業団体中央会共催による平成23年度「青年部経営セミナー ～財務・基礎編～」が長岡グランドホテルにて開催され、青年部会員他27名が受講しました。

本セミナーは、青年部所属の経営者、後継者、経営幹部の方（候補者）の財務基礎知識の向上を目的に、経営・技術委員会（高橋重尚委員長）事業の一環として開催されました。

セミナーは、渡辺経営・技術副委員長司会、品田会長開会挨拶、高橋経営・技術委員長より開催趣旨説明・講師紹介ののち、講師には星野税務会計事務所（小千谷市）所長の星野将隆様をお迎えし、財務の基礎—主に決算書のでき方・見方を中心に、そもそも決算書は何で必要か？決算書はどの様に出来るのか？決算書は何を語っているのか？決算書から何がわかるのか？

の4つのポイントについて、わかりやすくご講義いただきました。

最後に久保田副会長より閉会挨拶が行われ、平成23年度「青年部経営セミナー ～財務・基礎編～」は盛会のうちに終了しました。

経営・技術委員会では、本セミナーの続編となる財務・応用編の開催も今年2月に計画しています。



## 企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々の  
よりよい福祉の向上を目指す。

## 東北七県電気工事業厚生年金基金

理事長 小林 功

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁 157 番地  
TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843

**三条支部青年部会****雪国型メガソーラーを見学！**

11月22日に三条支部青年部会では事業の一つである研修会と言う事で、新潟市にある昭和シェル石油(株)の雪国型メガソーラー（大規模太陽光発電所）の見学に行ってきました。

メガソーラーは新潟県の補助事業、一般社団法人新エネルギー導入促進協議会の「地域新エネルギー等導入促進事業」であり、昭和シェル石油(株)の100%子会社であるソーラーフロンティア(株)開発のソーラーパネルの実験をかねた発電所でありました。建築費用の1/2を国が負担し、さらに県が1/3負担したとの事でした。

ソーラーフロンティア製のソーラーパネルは、通常他のメーカーが使っているシリコン製のパネルではなく、銅、インジウム、セレンを使用した同社の独自技術で生産される次世代太陽電池パネルで、経済効率の高さ・環境負荷の少なさのほか、太陽電池の設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）が、従来型のものに比較して高い（年間発電量で約8%の差、同社調べ）という特徴をもっています。

実際、昨年1月から12月を目途に、1年間発電目標を見学時の時点で120%位達成したと言っておられましたので、製品の性能としては大変高いのではないのでしょうか。一般住宅の設置費用に関しても(量販店等で扱っている)他のメーカーに比べて価格帯は低いと思われるかもしれません。単結晶の物よりは多少劣るようですが、価

格等から考える余地があるようでした。

雪国での最適傾斜角を検証するため、太陽電池パネル設置角度を20度と30度の2種類としていましたが、雪を落とすことを考えると30度の方が効率が良い様で、夏場に関してはどちらも変わらないとの事でした。雪対策のため地上1mの高さから太陽電池を設置し、架台建設において建設残土を排出しない工法及び省エネルギーを考慮し、架台に使用する材料を少なくするデザインを採用しているようでしたが、建築費用はかさむようでした。

見学の日には生憎の雨で、施設の前にある電光掲示板の表示は残念ながら“0kW”と表示されていましたが。多少何ワットかは発電しているかと思いますが、そこまでは残念ながら聞けませんでした。敷地内には更地もあり今後もパネルを増やしていくとの事で、ゆくゆくはメガソーラーを目指してほしいところです。

東北電力(株)とは余剰電力ではなく全量電力買取制度を契約しており、契約内容としてははっきりとはお答えしていただけませんでした。大体の事を話していただいた内容から推測すると、この発電施設自体で元を取るのには難しいなと思うことが感じられました。この国の抱える電力事業としては、ソーラー発電は補助施設としての位置づけは変わらないのでしょうと感じました。

今度はぜひ阿賀野市にあるメガソーラーの見学に行きたいと皆で言っていました。ぜひ晴れている日の発電量を見てみたいですね。



## 燕 支 部 青 年 部

研修旅行・  
ボランティア活動を実施！

皆さんこんにちは。燕支部青年部です。

平素より皆様方におかれましては、格別なる御指導御鞭撻を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、我ら燕支部青年部も年々人数が減っていく中で、皆の団結力を向上し県央の電気工事業界をいかに発展させていくか、日々試行錯誤を重ね進んで行っているところでありますが、今年度は更なる団結力を深めようと、昨年11月19日～20日に一泊二日で研修旅行に行っていました。行先は北陸方面の片山津温泉で、石川県の航空博物館・自動車博物館、東尋坊と回って参りました。参加人数は5名と少人数になってしまいましたが、皆、和気藹々と楽しむことができました。



また、燕支部青年部では毎年、地域貢献運動の一環としてボランティア活動を行っております。ボランティア内容と致しましては、公園の照明器具清掃やゴミ拾い、老人保養施設の照明器具及び空調機のフィルター清掃など、毎年色々な内容で行っています。

今年度は、某地区の産業祭りに参加させていただき、「高所作業車の乗車体験」を実施致しました。対象は主にお子様で、体験した子供達は、「あっ、自分の家が見える！」とか「学校

が見える！」とか一様に楽しんでいる様子でした。なかには、何度も乗車するお子さんもいました。また、体験された方のなかには、ご年配のおばちゃま×2のペアもいらっしゃって、上空から「キャー！わーっ！」と黄色い？いえ、黄色が少し茶ばんだ声が響き渡っていました。

燕支部青年部は多分、各支部の中では一番仲の良い青年部だと自負しております。これからも、より団結し結束力を高め地域の皆様、また、他支部の皆様から可愛がられるような青年部を目指してがんばっていかうと思います。



Panasonic  
ideas for life

ビュービュー  
火事です火事です

けむりは、音もなく忍びよる。

もしもの時は、声でお知らせ。  
**パナソニック住宅用火災警報器**

業界最薄<sup>※</sup>26mm。

**けむり当番**

SH38455 希望小売価格 5,670円(税込)  
銘定型式番号:銘住第20-32号  
※警報音・音声警報機能付 ※一般型もあります

NEW

住宅用火災警報器

denko.panasonic.biz/Ebox/jukeiki

パナソニック電工株式会社 新潟営業所  
お問い合わせ先…〒950-2031 新潟市西区流通センター1丁目1番地3 TEL.025-260-7711

## 長岡支部青年部会

## 東日本大震災

## 復興応援イルミネーションを実施

三浦克利会長率いる総勢23名の長岡支部青年部会では、イルミネーション事業委員会の五十嵐淳一委員長を先頭に、昨年10月16日（日）長岡支部電気工事会館駐車場において、東日本大震災復興応援イルミネーションを長岡支部親組合（長岡電気工事協同組合）の皆様、そして昭和電機産業株式会社様の多大なご協力、ご支援を賜り施工致しました。

前年度まで行っていた長岡駅前にある長岡市のシンボルツリーである大けやきへのイルミネーションが当初の目的を達成したこと、そして街並みの変化に伴い施工が困難となったことを鑑みて、市民の皆様にも惜しまれつつも終了となり、新体制となった平成23年度は地域活性化や業界PRを含め、新たなイルミネーション事業を模索しておりました。

しかし、3月11日に東日本大震災が発生し、イルミネーション事業の中止も視野に入れながら具体的な検討が行われました。長岡支部青年部のメンバーは、「中越地震で頂いた恩を今、返さねば」、「直接現地に行くことができないが、何かできることはないか」、「長岡には福島県の多くの方が避難しているので勇気づけたい、応

援したい」という意見が多く、震災からの復興を応援するようなイルミネーション事業を行うこととしました。テーマは『和心（わごころ）』と題し、発災時の思いやりや気配りのある行動、地域ぐるみでの助け合い、まさに互助の精神であり日本人の心を大切にして、復興への歩みを応援しようという思いを込めたイルミネーションとなりました。

また電力不足、節電が叫ばれる中での施工ということで、LEDラインを使用し、太陽光発電パネルと深夜電力を自動車用バッテリーに蓄え、ECOで環境に配慮した電力供給システムを採用しました。

被災地の早期復興と被災された皆様が一日も早く震災前の生活に戻られることを長岡支部青年部会メンバー一同、心から祈念いたします。

点灯期間：平成23年10月16日～（終了未定）

点灯時間：毎日17時～21時

点灯場所：長岡支部電気工事会館

〔長岡市西神田町2番4号〕

（天候や状況により変更する場合がございます。ご了承ください。）



（点灯写真は表紙裏に掲載）



太陽光発電パネルも設置

## 組 合 員 の 異 動

平成23年 8 月～平成23年12月

| 日 付         |     | 支 部   |          |
|-------------|-----|-------|----------|
| H23. 8. 31  | 脱 退 | 魚 沼   | 佐藤電気工事店  |
| H23. 12. 31 | 脱 退 | 村 上   | スズキ電設    |
| H23. 12. 31 | 脱 退 | 燕     | 多田電機工事店  |
| H24. 3. 31  | 脱 退 | 三 条   | 三国電気商会   |
| H24. 3. 31  | 脱 退 | 長 岡   | 小柳電気商会   |
| H24. 3. 31  | 脱 退 | 十 日 町 | (有)ヒグマ電設 |

## 組 合 員 の 変 更

平成23年 9 月～平成23年12月

| 支 部 | 事 務 所           | 変更箇所  | 変 更 前                      | 変 更 後                      |
|-----|-----------------|-------|----------------------------|----------------------------|
| 新 潟 | (有) 北 上 電 気     | 住 所   | 〒950-0324<br>新潟市江南区酒屋町409  | 〒950-0022<br>新潟市東区幸栄三丁目6-2 |
|     |                 | T E L | 0 2 5 - 2 8 0 - 3 7 9 3    | 0 2 5 - 2 7 0 - 3 7 1 5    |
|     |                 | F A X | 0 2 5 - 2 8 0 - 4 7 7 5    | 0 2 5 - 2 5 0 - 7 8 1 5    |
| 〃   | 共 栄 電 気 (株)     | 代 表 者 | 斎 藤 実                      | 斎 藤 賢                      |
| 〃   | 日本リーテック(株)新潟営業所 | 代 表 者 | 金 子 秀 雄                    | 鹿 熊 俊 宏                    |
| 〃   | 萩 野 電 気         | 代 表 者 | 萩 野 均                      | 萩 野 潤 之 輔                  |
| 〃   | (有) 藤 田 電 気     | 代 表 者 | 藤 田 眞 洲 夫                  | 藤 田 真 一 郎                  |
| 〃   | 諸 橋 電 気 商 会     | F A X | 0 2 5 - 2 2 3 - 5 8 7 2    | 0 5 0 - 3 7 3 7 - 0 7 8 9  |
| 〃   | 米沢電気工事(株)新潟営業所  | 代 表 者 | 表 清 志                      | 宗 形 正 俊                    |
| 新 津 | 塚 野 電 機 商 会     | 代 表 者 | 塚 野 宏 司                    | 塚 野 道 正                    |
| 三 条 | 中 野 電 気 商 会     | F A X | 0 2 5 6 - 5 7 - 3 3 3 4    | 0 2 5 6 - 4 7 - 1 0 8 8    |
| 長 岡 | (有) 光 電 機       | 代 表 者 | 行 方 洋 子                    | 行 方 邦 仁                    |
|     |                 | 住 所   | 〒940-1146<br>長岡市下条町2972-3  | 〒940-1146<br>長岡市下条町2972-4  |
| 柏 崎 | 霜 田 電 気 商 会     | T E L | 0 2 5 7 - 2 3 - 1 0 1 6    | 0 2 5 7 - 3 5 - 4 0 2 1    |
| 魚 沼 | 五 十 嵐 電 機 商 会   | 代 表 者 | 五 十 嵐 純 一                  | 五 十 嵐 俊 巳                  |
| 〃   | 大 平 電 気         | 住 所   | 〒949-6681<br>南魚沼市余川1225-55 | 〒949-6608<br>南魚沼市美佐島152-5  |

※県本部宛変更届提出分について掲載しております。

# 保険って?!

## 自動車保険の新しい特約について（お知らせ）

平成24年 1月 1日保険始期以降のご契約から、

「地震・噴火・津波車両全損時一時金特約」を付帯すると、

年間保険料 5,000円

で、一時金で

最高 50万円まで

、お支払いできます。  
・従来の自動車保険で、「車両保険」に加入されていても、「地震等」が原因の場合、車両に損害があっても補償されませんでした！  
（※詳細は、提携代理店にお問い合わせいただくか、またはパンフレット等でご確認ください。）

損保ジャパン

平成24年1月新設

SOMPO JAPAN

NSIグループ

地震

噴火

津波

### 地震・噴火・津波車両全損時一時金特約

車両保険では地震・噴火・津波による損害は補償されません!!

地震・噴火・津波車両全損時一時金特約を付帯するといざというときも安心!!

地震・噴火・津波による損害でこの特約の自動車全損になった場合に、地震・噴火・津波車両全損時一時金として50万円（ただし、車両保険金額が50万円を下回る場合はその金額とします。）をお支払いする特約です。

（注）この特約の保険金をお支払いした場合は、ご契約の自動車所有権は損保ジャパンに移転します。  
※SUPで車両面談協定特約を付帯している場合は、地震・噴火・津波による損害は別途保険金のご適用となります。

お支払いの要件

この特約により「全損」と判定される一定の基準に合致する場合、保険金をお支払いします。  
通常の損害認定とは異なり、損害額の算出を必要としないため、迅速な保険金のお支払いが可能です。  
※ 約款に定める基準をいいます。詳細は裏面をご参照ください。

全損と判定する例

津波により、ご契約の自動車  
運転席の座面を超える浸水を受けた場合

ご契約の自動車  
所定の損害を受けた場合

特約保険料

<年間（一時払の場合）> 5,000円となります。

車両保険金額が50万円を下回る場合は、その車両保険金額に就いて保険料がお安くなります。  
保険料例は裏面をご参照ください。

### 地震・噴火・津波車両全損時一時金特約の概要

| 対象契約    | 付帯条件                                                                                                                                                      |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ■ 対価契約  | ■ ONE-STEP、SUP（一般条件）を適用したご契約<br>※ リースカーの車両使用保険特約を含みます。                                                                                                    |
| 用途：車禍   | ■ ご契約開始の初日から平成24年1月1日以後のご契約                                                                                                                               |
| ご契約期間   | ■ 二輪自動車、原動機付自転車、農耕作業用自動車（キャンピング車以外）、A種工作車、日通工作車を除くすべての用途、車種                                                                                               |
| 付帯上の注重点 | ■ 1年間（使用期間および短期契約にも付帯します。）<br>■ この特約を付帯する場合は、他の特約を同時に付帯できないことがあります。<br>詳細は取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。<br>■ この特約により保険金をお支払いしても、次年度以降の等級（無事故による割増引）に影響しません。 |

この特約における「全損」と判定される基準  
地震・噴火・津波によりご契約の自動車の損害状況が以下のいずれかに該当した場合、「全損」と判定します。

- 1 衝突または衝突し発火した場合は、全損と判定します。
- 2 運転席の座面を超える浸水を受けた場合
- 3 全損した場合
- 4 ルーフの著しい損傷、3本以上のピラーの折損、断裂またはこれらと同程度の損傷、および前後、後面、左右いずれかのドアガラスの損傷の3つの条件すべてに達し損傷を受けた場合
- 5 2本以上のピラーの折損、断裂またはこれらと同程度の損傷、サイドシルの折損、および座席の著しい損傷の3つの条件すべてに達し損傷を受けた場合
- 6 前後左右のサスペンションおよびこれらと接続されたフレームまたは車体底盤のいずれかが著しく損傷し走行が困難な場合
- 7 原動機のリジダンシーに著しい損傷が生じ原動機の回転が著しく困難な場合、または電気自動車用電気装置の電池部分に著しい損傷が生じ回転が著しく困難な場合
- 8 上記1-7の他、損傷を修理することができない場合で車を引取り

車両の構造および名称

保険料例

ご契約開始の日：平成24年1月1日  
ご契約の自動車：新車（新車価格：500万円）  
ご契約の自動車：新車（新車価格：500万円）  
ご契約の自動車：新車（新車価格：500万円）

車両保険：一般条件100万円  
月々8,440円

さらに「地震・噴火・津波車両全損時一時金特約」を付帯  
月々8,880円

月々プラス400～500円程度で大きな安心感！

※ この特約は、地震・噴火・津波による損害に限り適用されます。その他の損害は通常の車両保険の適用範囲となります。  
※ この特約は、地震・噴火・津波による損害に限り適用されます。その他の損害は通常の車両保険の適用範囲となります。

働く人の暮らしを守る制度です。

# 新潟県 最低賃金

が改定されました。

# 683円

時間額

※特定の産業には特定(産業別)最低賃金が定められています。

[発効日]平成23年10月7日

必ずチェック最低賃金！ 使用者も、労働者も

最低賃金制度とは、最低賃金法に基づき国が賃金の最低額を定め、使用者は、その最低賃金額以上の賃金を支払わなければならないとする制度です。

ウェブで最低賃金がチェックできます。

厚生労働省 ホームページアドレス <http://www.mhlw.go.jp/>

最低賃金に関する特設サイトアドレス <http://www.saiteichingin.info/>

最低賃金に関するお問い合わせは新潟労働局または最寄りの労働基準監督署へ

厚生労働省

編集発行：新潟県電気工事工業組合  
〒 951-8068  
新潟市中央区上大川前通 6 番町 1203 番地  
＜管理部門＞ TEL 025 (229) 4101  
＜資材部門＞ TEL 025 (229) 1586

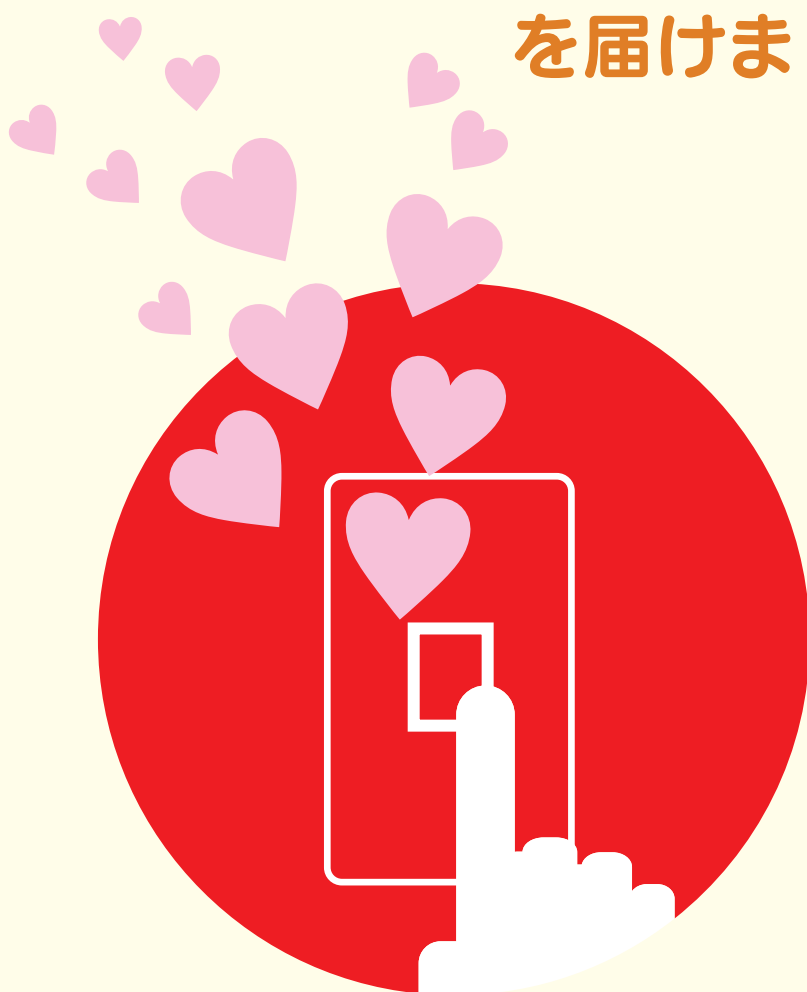
印刷：株式会社 大創

# 謹 賀 新 年

スイッチから

愛

を届けましょう



新潟県電気工事工業組合